

第1次アクションプラン【平成31年度版】（案）新規事業一覧（7事業）

<凡例>
 ◎：宮城の将来ビジョン推進事業
 [震災]：宮城県震災復興推進事業
 (地創)：宮城県地方創生推進事業
 ☆：平成31年度 特に注力する事業

掲載箇所	区分	事業名	事業概要	H29	H30	H31	H32	H31当初 予算額 (千円)	担当課室
基本方向2 健やかな体の育成									
① P. 22	08 ◎ ☆	体力・地域スポーツ力向上推進事業 【新規】	体力・地域スポーツ力向上に係る、小学校、中学校、地域における課題を解決するために、大学や民間企業と連携した優れた事業提案をモデル事業として実践し、児童生徒の体力及び地域スポーツ力の向上を図る。 <平成31年度の主な取組> 下記想定と合致する4提案程度を採択予定 ・市町村と大学や民間企業が連携して行う子供の体力・運動能力向上策 ・地域スポーツ団体等が行う子供の体力・運動能力向上策 ・ICT機器を活用した部活動指導支援 ・地域人材を活用した部活動支援 等					10,100	スポーツ健康課
基本方向3 確かな学力の育成									
③ P. 35	06 ◎ ☆	ICT教育環境整備促進事業【教育の情報化推進事業】 【新規】	新学習指導要領に定める情報活用能力を養うことができるよう、各教科（普通教室）で活用する生徒用タブレットPCの整備を4か年（H31～H34）で行う。 <平成31年度の主な取組> ・タブレット端末実質借（高校11校に41台、中学校2校に36台） ・充電保管庫整備（1校あたり1～2個程度）					12,000	高校教育課
基本方向5 多様なニーズに対応したきめ細かな教育の推進									
①② P. 46	29 ◎	特別支援学校プログラミング教育推進事業 【新規】	児童がプログラミング等を経験しながら、論理的思考力を身につけるための学習活動の本格実施に向け、モデル校によるプログラミング教育の試行及び研究を行う。 <平成31年度の主な取組> ・モデル校2校によるプログラミング教育の試行及び研究					4,300	特別支援教育課
基本方向6 郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成									
③ P. 56	14 ◎ (地創)	社会人との対話によるキャリア発達支援事業 【新規】	早期離職を予防するため、県内の児童・生徒を対象とした社会人との対話プログラムの実践により、児童・生徒の勤労観や職業観を醸成し、適切なキャリア発達を支援する。 <平成31年度の主な取組> ・社会人との対話プログラムの実施 ・社会人との対話プログラム実施体制検討会議の開催 ・社会人との対話プログラム普及シンポジウムの開催					12,398	産業人材対策課
基本方向8 安心して楽しく学べる教育環境づくり									
③ P. 75	14 【新規】	遺児等対策事業	国内外からの寄附金を積み立てた東日本大震災みやぎ子ども育英基金を活用し、東日本大震災以外の要因により保護者が死亡した児童生徒等について、安定した学びの機会を確保し、希望する進路選択が実現できるよう、奨学金を給付し、その修学を支援する。 <平成31年度の主な取組> ・小学校、中学校に在籍する対象者への月額金及び一時金の給付					160,000	教育庁総務課
⑤ P. 77	16 【新規】	海洋総合実習船代船建造費	船体・設備の老朽化が進んだ海洋総合実習船「宮城丸」の代船建造を行う。 <平成31年度の主な取組> ・代船建造に伴う基本設計及び概略設計					16,000	高校教育課
基本方向10 生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進									
② P. 95	17 [震災]	自然の家を利用した被災地見学型国際交流事業 【新規】	アジア各国からの教育旅行を受け入れるため、県内3箇所の「自然の家」を積極的に活用するとともに、教育旅行を中心としたアジア各国との相互交流の実現に向け、関係機関との連携を強化するものである。 <平成31年度の主な取組> ・台湾との相互の教育実現に向けた協議・調整 ・被災地見学型のモニターツアーの企画及び教育関係者等の招致 ・海外からの教育旅行受入に向けた、自然の家交流プログラム開発 ・自然の家の環境整備（施設・設備の改修）					17,200	生涯学習課